



八木秋子の著作集Ⅱ

八木秋子著作集第二集『夢の落葉を』がJCA出版から発売された(一、八〇〇円)。

昨年六月、本紙読書欄で堀場清子氏がとり上げた第一集『近代のへ負くを背負う女』では、昭和初期の農村コミューン運動にかかわったアキスト・八木秋子の既発表作品だけがまとめられたが、今回は、満州引き揚げ後、母子寮で働きながら蓄きためた未発表作品四十数編を収録。六十歳を過ぎ、通勤四時間、早朝から夜十時すぎの帰宅まできびしい仕事の中から生み出されたこれらの作品群には、ふるさと木曾福島で小学校教師をしていた青春時代、教えるたち、自伝風な家族点描、子どもから見た日露戦争……などが、みずみずしい情感をこめて描かれている。先駆者としての運命を生きた女性の、ユーモアと愛に満ちた意外な一面に触れることができる。

(JCA出版)東京都千代田区神田神保町一ノ四二、日東ビル)

聞

新

日

京

日曜日

1979年

54年) 2月25日